

ワークス中途採用調査2006

株式会社リクルート
ワークス研究所

株式会社リクルート（本社：東京都中央区、代表取締役社長 兼 CEO：柏木 齊）の人と組織に関する研究機関・ワークス研究所では、2006年度の民間企業の中途採用に関する調査を行いましたので、ご報告いたします。

※本データは、民間企業の正社員採用数を対象としております。

・05年度の中途採用実績数は122.8万人。

2005年度の中途採用実績数は122.8万人となった。

従業員規模別には1000人以上規模の企業で9.9万人、300～999人規模の企業で9.8万人、5～299人規模の企業で103.1万人となった。

業種別にはサービス・情報業の52.3万人、製造業42.4万人、流通業26.6万人、金融業1.6万人となった。

（詳細は3ページ）

・06年度の中途採用予定数（期初）は69.6万人となり、対前年比30.1%の伸び。

2006年度の中途採用予定数（期初）は69.6万人となった。05年度の中途採用予定数（期初）は53.5万人であったことから対前年比は30.1%の伸びとなった。

・1000人以上規模の企業の中途採用予定数は51.6%増加。

従業員規模別の中途採用予定数は1000人以上規模の企業が51.6%の伸びとなり、300～999人規模の企業の37.5%、5～299人規模の企業の26.5%よりも高い伸びとなった。

・流通業で60.5%の大幅増加に。

業種別需要の伸びは60.5%増加の流通業を筆頭に全業種で上昇した（サービス・情報業27.5%、金融業24.5%、製造業18.4%）。

（詳細は4ページ）

・新卒（大卒）求人数と比較しても、流通業・1000人以上規模の企業が対前年比を伸ばす。

中途需要は、新卒求人総数（対前年+18.1%）と同様大幅に増加した。また、規模を問わず中途採用予定数の伸び率は、新卒求人数の伸び率を上回った。

業界別では流通業、サービス・情報業において中途採用予定数の伸び率が新卒求人数の伸び率を上回ったのに対して、製造業・金融業では新卒求人数が中途採用予定数の伸び率を上回った。

（詳細は5ページ）

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit.jp/support/inquiry_press.html

【目次】

調査概要	2
採用予定数・実績数の定義	2
05年度中途用実績数/予定数	3
06年度中途採用予定数	4
新卒（大卒）求人予定数との比較	5
参考：ワークス大卒求人倍率調査より抜粋	6
推計方法	7

【調査概要】

調査目的：全国の民間企業の2005年度の中途正社員採用実績数・予定数、及び2006年度の中途正社員採用予定数の調査から、全国の中途採用予定総数（推定値）を算出し中途採用における求人動向を明らかにすること。

【企業】

調査対象：従業員規模5人以上の全国の民間企業
7,469社

調査項目：2005年度の中途採用予定数/実績数
2006年度の中途採用予定数

調査期間：2006年2月10日～3月13日

回収社数：4,068社

【中途採用予定数・実績数の定義】

本調査における「中途採用実績数・予定数」とは、集計データを元に、推測した値です。

注）採用実績および採用予定数伸び率は、リクルートワークス研究所による推計。
推計方法については、本資料7ページに記載。

【05年度中途採用実績数・予定数】

【05年度中途採用実績数】

2005年度の中途採用実績数は122.8万人となった。

内訳は従業員規模別には1000人以上規模の企業で9.9万人。300～999人規模の企業で9.8万人、5～299人規模の企業で103.1万人となった。

業種別にはサービス・情報業が最大数となり52.3万人。次いで製造業42.4万人、流通業26.6万人、金融業1.6万人となった。

【05年度中途採用予定数（期初）】

2005年度の中途採用予定数（期初）は53.5万人となった。

【05年度中途採用実績と予定（期初）との関係】

全体としては05年度の中途採用予定数（期初）に対して、2.30倍の採用実績数となった。中途の採用計画は期初に立案されず、期中での発生となることが多いことも影響している。

規模別に見ると1000人以上規模の企業では1.67倍となり、300～999人規模の企業（2.25倍）や5～299人規模の企業（2.39倍）に比べて期初計画に近い値となった。

金融業は昨年から採用活動が活発化したことが、期中での採用増加に寄与した（3.20倍）。流通業は採用難が続き、倍率がより高まった（2.78倍）ものと推測される。

【データ】 05年度中途採用実績数・予定数

●05年度中途採用数（正社員）の推計値

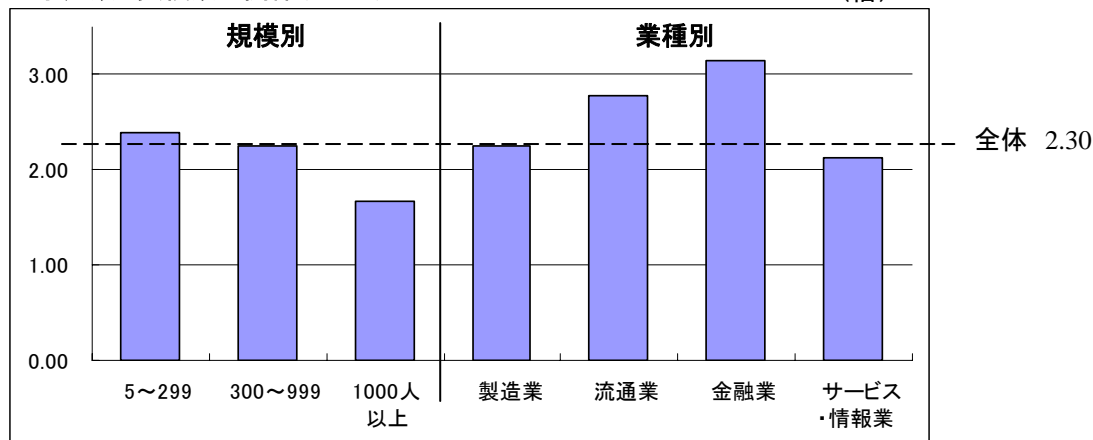
(人)

		A.実績数	B.予定数(期初)	A/B
全 体		1,228,200	534,800	2.30
規 模	5～299	1,031,600	432,100	2.39
	300～999	97,900	43,500	2.25
	1000人 以上	98,800	59,100	1.67
業 種	製造業	424,000	188,900	2.24
	流通業	265,500	95,500	2.78
	金融業	15,700	4,900	3.20
	サービス・情報業	523,200	245,500	2.13

※各人数値は十の位を四捨五入しているため、全体と各数値の合計値は一致しない場合があります。

予定数と実績数の関係(A/B)

(倍)



【06年度中途採用予定数】

【06年度の中途採用予定数（期初）】

2006年度の中途採用予定数（期初）は69.6万人となり、05年度の中途採用予定数（期初）の53.5万人から30.1%の伸びとなった。

従業員規模別の需要の伸び率は1000人以上規模の企業が最も高く51.6%となった。5～299人規模の企業は26.5%、300～999人規模の企業は37.5%となった。

業種別中途採用予定数の伸び率は60.5%増加の流通業界を筆頭に全業種で上昇した（サービス・情報業27.5%、金融24.5%、製造業18.4%）。

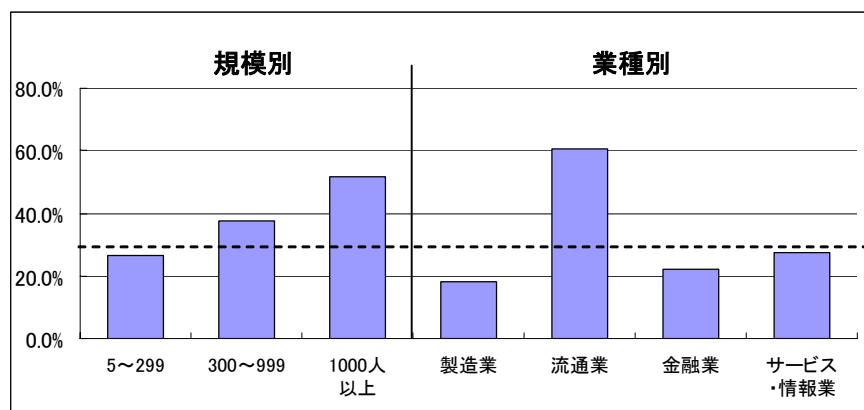
【データ】 06年度中途採用予定数と対前年比

● 中途採用予定数(正社員)の推計値 (人)

		05年度 (期初)	06年度 (期初)	伸び率
全体		534,800	695,900	30.1%
規模	5～299	432,100	546,600	26.5%
	300～999	43,500	59,800	37.5%
	1000人以上	59,100	89,600	51.6%
業種	製造業	188,900	223,600	18.4%
	流通業	95,500	153,300	60.5%
	金融業	4,900	6,100	24.5%
	サービス・情報業	245,500	313,100	27.5%

※各人数値は十の位を四捨五入しているため、全体と各数値の合計値は一致しない場合があります。

対前年伸び率



全体の伸び率
30.1%

(参考) 対前年度伸び率: 業種×規模クロス

		業種			
		製造業	流通業	金融業	サービス・情報業
業種計		18.4%	60.4%	24.5%	27.5%
規模	5～299人	12.6%	58.3%	-42.1%	25.5%
	300～999人	61.3%	54.8%	50.0%	27.8%
	1000人以上	49.5%	89.6%	67.9%	40.7%

※金融の999人以下の規模の企業(斜体)は調査回収数が少ないため、参考値。

【新卒（大卒） 求人予定数との比較】

【新卒（大卒） 求人との比較（新卒データは6ページ参照）】

中途採用予定数は、堅調に推移する景気の影響で新卒求人総数（対前年+18.1%）と同様大幅に増加した。

規模を問わず、中途採用予定数の伸び率は新卒求人数の伸び率を上回った。また中途では1000人以上規模の企業の伸び率が1000人未満規模の企業に対して高い。一方で新卒では1000人未満規模の企業の伸び率が1000人以上規模の企業を上回った。

業種別では流通業、サービス・情報業において中途の伸び率が新卒の伸び率を上回ったのに対して、製造業・金融業では新卒の伸び率が中途を上回った。

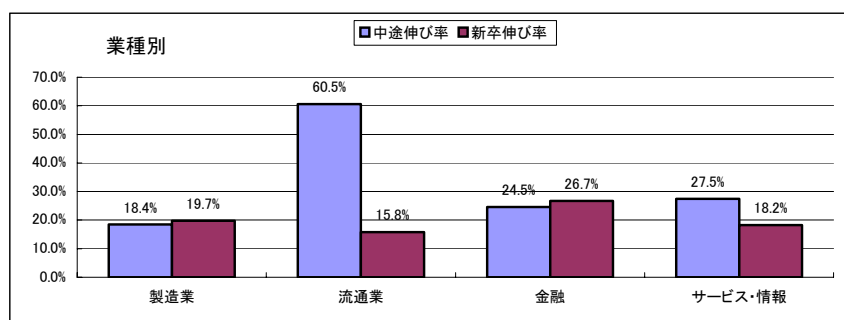
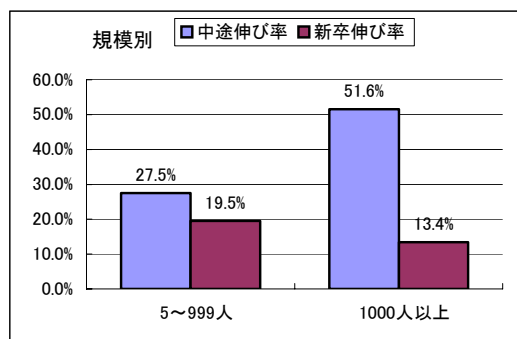
金融業においては高騰する新卒求人の伸び率（対前年+26.7%）同様、バブル崩壊以降落ち込んでいた採用が復活し、中途採用にもその影響が波及しているようだ。

流通業の突出した伸びは中途での継続している採用難に加え、新卒での採用難にも影響されていると推測される。

サービス・情報業は中途採用比率が高いため、旺盛な採用活動の影響を受けていると思われる。製造業も増加はしているが新卒中心の採用であるため、新卒求人数は大きく増加したものの（対前年+19.7%）、中途採用予定数は他業界に比して低めの伸び率（対前年+18.4%）となった。

【データ】新卒（大卒） 求人予定数との比較

		中途伸び率	新卒伸び率
全体		30.1%	18.1%
規模	5~999人	27.5%	19.5%
	1000人以上	51.6%	13.4%
業種	製造業	18.4%	19.7%
	流通業	60.5%	15.8%
	金融業	24.5%	26.7%
	サービス・情報業	27.5%	18.2%



【参考：ワークス大卒求人倍率調査（2007年卒）より抜粋】

新卒求人総数/増減率/推移

	2005年 3月卒	2006年 3月卒	2007年 3月卒
求人総数	596,900	698,800	825,000
対前年増減数	+13,300	+101,900	126,200
対前年増減率	+2.3%	+17.1%	+18.1%

【業種別】新卒求人総数/増減率/推移

【製造業】	2005年 3月卒	2006年 3月卒	2007年 3月卒
求人総数	265,300	310,100	371,300
対前年増減数	+16,900	+44,800	+61,200
対前年増減率	+6.8%	+16.9%	+19.7%

【流通業】	2005年 3月卒	2006年 3月卒	2007年 3月卒
求人総数	237,100	282,900	327,500
対前年増減数	▲1,600	+45,800	+44,600
対前年増減率	▲0.7%	+19.3%	+15.8%

【金融業】	2005年 3月卒	2006年 3月卒	2007年 3月卒
求人総数	12,000	13,500	17,100
対前年増減数	+400	+1,500	+3,600
対前年増減率	+3.4%	+12.5%	+26.7%

【サービス・ 情報業】	2005年 3月卒	2006年 3月卒	2007年 3月卒
求人総数	82,500	92,300	109,100
対前年増減数	▲2,500	+9,800	+16,800
対前年増減率	▲2.9%	+11.9%	+18.2%

【従業員規模別】新卒求人総数/増減率/推移

【1000人以上】	2005年 3月卒	2006年 3月卒	2007年 3月卒
求人総数	142,900	164,600	186,700
対前年増減数	+15,400	+21,700	+22,100
対前年増減率	+12.1%	+15.2%	+13.4%

【1000人未満】	2005年 3月卒	2006年 3月卒	2007年 3月卒
求人総数	454,000	534,200	638,300
対前年増減数	▲2,100	+80,200	+104,100
対前年増減率	▲0.5%	+17.7%	+19.5%

【推計方法】

【中途採用実績数/予定数を推計する際の集計手続き】

中途採用実績数/予定数の推計の仕方は、以下の方法で実施している。

・集計社数の従業員規模別の社数構成が、「事業所・企業統計調査報告」（総務省統計局平成16年度版）の企業常雇規模構成に等しくなるよう、回答社数をウェイトバックした。ただし、抽出母集団は5人以上の企業であり、4人以下の企業は含まれていないため、「事業所・企業統計調査報告」の企業数のうち従業員数「0～4人」の企業を除いた735,084社にウェイトバックしている。